

大阪府立北野高等学校 平成 29 年度 第 3 回 学校協議会 議事録 (抄)

1. 日 時：平成 30 年 2 月 6 日 (火) 15:00～17:00

2. 時 程：15:00～17:00 協議会 (於：校長室)

(1) 校長挨拶

(2) 学校運営協議会について

(3) 事務局より報告

- ・校長 「平成 29 年度学校経営計画及び学校評価 (案)」
「平成 30 年度学校経営計画及び学校評価 (案)」
- ・指導部 「北野高校の校則について」
- ・教頭 「授業アンケート結果」
- ・進路部 「センター試験結果等」

(4) 意見交換、協議

校長挨拶、事務局からの報告に基づき、上記項目について協議した。

3. 主な協議内容及び提言 (○：学校協議会委員 ●：事務局員)

○ノークラブデーについては北野ではどのように取り組んでいるのか。また、働き方改革に関してはどのような問題があるのか。

●ノークラブデーは、本校では具体的に年度当初に部活ごとに何曜日を休みにするかを決めた。教員と生徒双方の休養が目的。それ以外に、府庁の一斉退庁日に倣って、週一回火曜日は 19 時には退勤する日と定めている。世間で言われているように、学校現場は昔より行事や業務が増えている。また、2 年での課題研究のように、専門性が高くて個別対応が必要な授業準備に時間を要するものもあり、勤務時間内に終わらないことも現実多い。

○外部委託には予算も必要だろうが、ぜひ増やして、先生方には可能な限り休養をとってもらいたい。大学でも、学生にさまざまな課題に取り組んでもらう企画があるが、とても教員だけでは手に負えない。院生に Teaching Assistant として入ってもらい、非常に助かっている。学生にとっても年齢の近い先輩から研究課題以外にもいろいろな話を聞くことができる。北野高校でも、大学 (院) で研究をしている卒業生が手伝ってくれれば、手数が増え、生徒にプラスになるのでは。

○校内の課題研究の発表会に賞は設けているか？励みになると思うが。

●賞は設けていないが、評価をして優秀チームには外部での発表の機会を設けることにした。SGH 中間発表会では優秀チームが横浜で開催された全国高校生フォーラムの出場権を得た。また、先日も別のチームがグローバルリーダーズハイスクール 10 校合同発表会で発表した。外部で発表することを大いに奨励している。加えて、今年度は若い教員のアイデアで「いいねカード」を採用した。1 年生が記入した見学記録カードと合わせて各チームにフィードバックする。

○大学の特色入試ではいわゆる「プルーフ」も要求される。外部に出ると、生徒にとっても新たな発見がある。積極性を養うのにも良いきっかけとなるのでは。

●府立高校では校則の議論が盛んである。細かい校則を定めている場合は個々の見直しの議論になるが、本校のような場合は、「高校生の品位」や「高校生らしさ」の奥にあるものを外部にも

説明できることが必要。校則に明記されていないからと言って、自由な校風がゆえに「北野は茶髪OKですよね」と言われることがある。茶髪を認めているというわけでは決してなくて、「高校生の品位にふさわしく」という言葉を読み取ってほしいということ。それが通じないなら、個別に指導していく、というスタンスである。生徒にも「高校生の品位」とは何かをきちっと考えさせるところが大切なところ。

- 中学生にはいつも言っているが、中学生も高校生も身だしなみが大切だと思う。ルールで縛るのではなく身だしなみとしての話をしている。制服に茶髪はおかしいでしょう、ということ。
- 保護者として北野生を見ていると、「品位」をある程度理解しているように見える。格好をつけて崩そうとも思っていない。知らぬ間にはみ出してしまった際には、「なぜいけないのか」というところを指導されている。カーディガンについても過去に議論があって、現在では、校内は可、通学中は他人が見ている場でもあるのでブレザー着用となった、と聞いた。このまま変更する必要はない。
- 全般的に先生方も生徒たちも大変よく努力されていると感じる。ただ、先日の課題研究発表会を見て気になったことは、生徒の質問が少ないということ。他の人と議論する、という場が少ないのかなと思える。
- 課題研究発表会では2年が発表、1年が聴くということで、質問がしにくかったということもあったらう。小さな集団やポスター発表では活発に質問できるが、六稜ホールなどの広い会場で挙手してとなると緊張するようだ。が、普段の授業ではリラックスしており、教え合いや議論、いわゆる、アクティブラーニングが活発に行われている。
- 未来のグローバルリーダーの育成として議論する力は大切。大学でも重視しているのでぜひ進めてもらいたい。
- 学校の施設・設備における生徒の評価が低いのはなぜか。
- さまざまに要因はあるが特にトイレの問題が大きいように思う。大阪府も3年計画で府立高校のトイレの洋式化をすすめている。設備が新しくなる機会を活かして、使い方や清掃について等、教育的な側面から指導をしていかなければと考えている。

校長より)

- ◎ノークラブデーに関して、制度としては今年ある程度定着した。ただ、土日の使い方や自主練習の扱いは部活ごとの裁量になっている。また、休養を取ることへの意識にも差があるようだ。教員の働き方が尋常でなくなっている、という目が世間にできた今は大きなチャンス。部活以外にもまだまだ問題はあ。専門職へのアウトソーシングにはお金がかかるが、府が年度末に施策を示すと言っているので期待したい。
- ◎大学進学のために外部での発表をするのではなくて、そういう機会を自分で高めた結果、道が開けたというのがいいだろう。
- ◎校則については、皆さまや生徒の意見も聞きながら、生徒たちが本来あるべき自治、品位、品格を考えるきっかけにしたいと考える。
- ◎生徒が主体的に深く考える、ということを中心に、授業においても自分の意見をまとめたり、議論したりするような機会が多くなればと考えている。
- ◎施設面については、すべてが今日明日に改善できるものではないが、できること、できないこ

と、できることについては、スケジュールや見込みを丁寧に伝えていくことが大事。その中で互いの理解を深めていきたい。